

小さな種：ツンガリ・ヌー

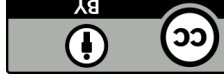
タノの物語



小さな種：ツンガリ・ヌーの

物語

✎ Nicola Rijdsijk
✉ Maya Marshak
👉 Kei Fukumoto, Konomi Nakagawa,
Sayaka Yamamoto, Saari Yoshida



This work is licensed under a Creative Commons
[Attribution 4.0 International License](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0).
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0>



✎ Nicola Rijdsijk
✉ Maya Marshak
👉 Kei Fukumoto, Konomi Nakagawa,
Sayaka Yamamoto, Saari Yoshida

|| 3

🗨️ 日本語



Global Storybooks

globalstorybooks.net



アフリカの東の方にあるケニヤ山のあたりに村があります。そこでお母さんと畑仕事をしている女の子がいました。女の子はワンガリといいます。

ツンガリは、2011年に亡くなりま
した。しかし、美しい木々を見て、今
でもツンガリのことを思い出していま
す。



ツンガリは、外で遊ぶのが大好きでし
た。ツンガリは、おうちの野菜畑に、
アチエテを使って土を柔らかくしま
す、暖かい土壌に小さな種を植えまし
た。



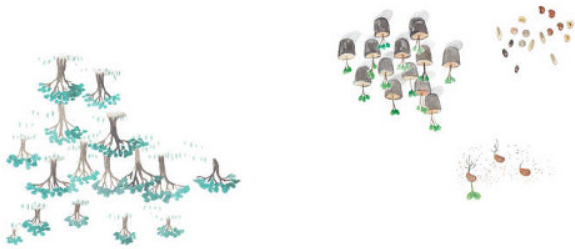


ワンガリは、一日の中で夕焼け後の時間が一番大好きでした。暗くなって、畑の野菜が見えなくなるとワンガリはおうちに帰るのです。畑に沿って狭い小道をたどり、いくつか川を横切り家路につくのでした。



ワンガリは一生懸命働きました。世界中の人々が彼女に注目しました、有名な賞をあげました。それは、ノーベル平和賞という賞です。ワンガリは、アフリカの女性で初めてノーベル賞をもらうことができたのです。

時が過ぎて、種が木になり、新しい木が森に育ち、川の水が再び流れ始めました。ツガリの教えはアフリカ中に広まり、今日では何百万もの木々がツガリの種から育ちました。



ツガリは頭が良かったので、早く学校に行きたくて仕方ありませんでした。しかし、ツガリのお父さんとお母さんはツガリに学校に行かせたくありませんでした。ツガリに、もっとおうちの手伝いをし欲しかったからです。しかし、ツガリが7歳になった頃、ツガリのお兄さんがお父さんとお母さんに、ツガリが学校に行けるように一生懸命頼んでくれたの



で、ついにワンガリは学校に行けることになったのです。



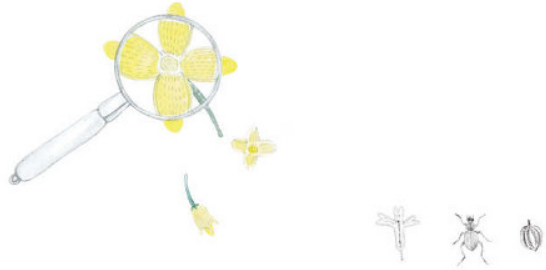
ワンガリはどうすればよいのかを知っていました。女性たちに種から木を育てる方法を教え、彼女たちは木を売り家族を養うお金を稼ぐことができました。みんながとても喜びました。ワンガリは人々が強くなれるよう、手助けをしました。

大学での勉強を終えると、ツンガリはケニアに戻って来ました。しかし故郷の環境は大きく変わっていました。巨大な農場があたり一面に広がり、女性たちは火をおこすための木さえ手に入れることが出来ず、人々は貧しく子供たちはおなかをすかせていました。



ツンガリは勉強をするのが大好きでした！ ツンガリはたくさん本を読んで勉強しました。学校で良い成績をおさめていたツンガリは、アメリカの大学に行くことになりました。ツンガリはとても喜びました！ もっとたくさん世界のことについて学べるからです。





アメリカの大学でワンガリは知らなかったことをたくさん学びました。植物や植物の育て方も学びました。これらの勉強はケニアのきれいな森にある木々の陰でお兄ちゃんと遊んだワンガリの幼少期の記憶をよみがえらせました。



アメリカの大学でたくさん勉強しているうちに、ワンガリはケニアの人たちが恋しくなりました。ワンガリは、大好きなケニアの人たちを幸せに、自由にしてあげたいと思うようになりました。たくさん勉強すればするほど、アフリカにある自分の家のことを思い出しました。